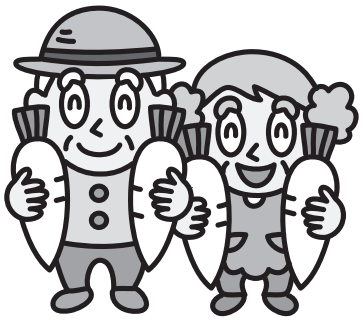
にあり、線引き廃止、及び定住促進施策の結果であると考えている。
②線引き廃止以降のフォローアップ調査の検証結果と来年度実施の都市計画基礎調査の内容等に基づき、笠岡市都市計画マスタープランの変更を行い、土地利用計画の見直しを行う予定である。
　民間開発を誘発する具体的な活性化戦略については新設土地造成促進奨励金等をより推進することで、民間活力の活性化を図りたい。
③耕作放棄地解消に対する補助制度の延長と農家の戸別所得補償制度の充実を国、県に要望していくこと等を考えている。



田口忠義議員

公共交通機関（路線バス）について

議員　①関係自治体との経費の負担割合の考えをたずねる。
②平成25年4月以降もっと市民にとって効率の良い運用方法はないかたずねる。
市長　①関係市町と協議が必要だが、基本的に運行距離による案分と考えている。
②当面は運行確保に最優先で取り組むが、その後の交通体系については路線バス、デマンドタクシー、コミュニティバス等、それぞれの特性を踏まえた体系構築を考えている。

水産技術士の受け入れ効果について

議員　水産資源の維持、確保等に向けて水産技術士を受け入れたが、その成果についてたずねる。
市長　アサリの養殖等を行い、笠岡市内に建設した荷さばき施設を活用し流通の拡大に取組み、販売店の拡大に成果を上げている。
議員　漁業者へ指導等も行っているのか。
建設産業部長　稚魚の放流に関する助言、ライフジャケット着用等の指導を行っている。

ほかに★かさおかエコプラン2022★特定健診受診率について質問しました。

最終処分場について

議員　①今年度末で利用できなくなる見崎山の最終処分場の代替地等の進捗状況についてたずねる。
②平成29年度以降の候補地の進捗状況をたずねる。
市長　①現在選定作業の詰めの交渉を行っており、今年度末までには決定されるものと考えている。
②ごみ処理広域化の基本計画の中では、最終処分場を平成29年度竣工予定であり、おおむね予定どおりである。

竹原泉議員

市行政の基本的姿勢と方向性について

議員　①現在の国の状況からもこれから一段の経済悪化が予測されるが、本市の成長戦略はあるか。
②本市が自信を持って対外的に発信できるものは何か。
③島しょ部の発展のための施策についてたずねる。
市長　①定住に資する施策、事業を積極的に展開し、ずっと笠岡に住み続けたいと思えるようなまちづくりこそが、本市の成長戦略だと考えている。
②本市には有形、無形の観光資源が豊富にあり、現在これらを有効かつ効果的に活用した情報発信を行うとともに、シティセールス検討チームによる取組を進めている。
③島づくり協議会の立ち上げ等により、協働の島づくりが進められている。また、笠岡諸島振興計画を新たに策定すること等を考えている。

シティセールス検討チーム会議の様子